

学園の心



庄司文子

私は作文が苦手なので学園に入会して感じた事を心で表して書きます。

一人暮らしの淋しさが和らいで来た心。若い皆様方に会えて元気を頂いた心。会話の苦手な私を笑顔で話せるようになった心。

一人で見学出来ない会社や工場など沢山見学出来た感謝の心。皆様方から話しかけられると嬉しくなる心。

人生何歳になってもお洒落を忘れない心。皆様の良い所を沢山学びとる心。悪い所は自分で反省する心。パーク、ダンスその他のサークルを学べる良い身体と良い心。今日は躰が怠い...

学園に行こうとの思いが元気になる心。学園のお陰で友達ができ、その幸せな心。感謝の心で一杯です。

- 一、相手を思いやる心
- 二、努力する心
- 三、話しを聞く心
- 四、約束を守る心
- 五、我慢する心
- 六、欲張らない心
- 七、思いやる心
- 八、お陰様の心
- 九、明るいい心
- 十、いたわる優しい心

平成二十三年度閉講式

三月二十三日

昨年の四月から今年の三月まで通算三十二回の講座を実施、半数以上の出席した三十五名の学園生へ修了証が授与された。皆勤賞、精勤賞の皆さんには清水教育長から賞状が手

皆勤賞の皆さん



渡され、副賞が付き会場から賞賛の拍手が沸いた。工藤道子さんは三年連続の皆勤賞で快挙を成し遂げた。

皆勤賞六名、精勤賞十三名、素晴らしい成績を収めました。懇親会ではカラオケとダンス、踊りで一年の授業を閉めくりました。

四十周年に向けて

自治会長 山田輝雄

私が学園に入会してまだ七年、最初の四年はただ名前を連ねていただけ。自治会長に推されて慌てて学園とは何ぞやと勉強させて貰いました。

入会前から交通安全教室で毎年お邪魔し交通ルール遵守と命の大切さを尾首もせず説教したたのは今となっては恥ずかしい限りです。

会長になって何をするのか、挨拶も何を話したら良いのか全く解らずただ右往左往するばかり、先輩役員の教えに従ってやっとなつて来ました。

長年培われた行事、習慣は大事にして、それを守って来た学園生が今日の伝統ある高齢者学級遊楽部学園があります。平成六年に名称を八雲町高齢者学級が

ら遊楽部学園に変更されていますが、私は敢えて禁を犯して、高齢者学級遊楽部学園と冠を付けさせて頂きます。遊楽部学園だけでなく幼児なのか少年なのか障害者なのか外部の方には全く連想されません。遊楽部学園が町内にがっちりと定着し、認識されています、私が入園当初からホームページに学園の主な行事を掲載して来ましたが、世間一般へ広くアピールするためには高齢者学級(大

遊楽部学園創設のころ、日本は経済成長まつただ中、高齢者の比率は十%台、医療費は無料、老人クラブ等の各種助成金はほぼほどあり、大変恵まれていました。現在は世界一長寿国になったとはいえ、国民の幸福度は四十位、高齢化率は三十%に迫るうとしています。

各種負担の増加し、高齢者のニーズが多様化が相まって新規加入者は増えず将来の展望が見えて来ない。

六十代の方が気軽に入会出来るよう新鮮みのあるプログラムと雰囲気作りに努めましょう。過去四十年の間に素晴らしい活動、実績を残した時代もありました。特に開講三十周年記念事業に於いては半年前から実行委員会を立ちあげ文集の作成に取りかかり素晴らしい記念誌を残して下さいました。この度の四十周年

は準備は僅か一ヶ月、行き届かない点は多々あるうと思いますが、ささやかでありますが心の籠もった式典・祝賀会にしよう役員一同専心努力しております。

記念誌の代わりに今まで発行した学園便り三十七号分を冊子に綴じて来賓の方のみさし上げる予定です。甚だせん越であります、本来であれば

二十四年の自治会役員は総会で選出するのが筋ですが、今回だけは式典の準備の都合上、先日の役員会に於いて内諾を頂き新旧両役員で準備に当たっておりま。是非会員全員出席して頂き祝賀会を盛り上げて新しい時代のスタートにしましょう。

最後に三年間皆さんに支えられて私の人生で最も充実した人生を過ごさせて戴き、友達も沢山できました。この友情を糧に今までお世話になった分、幾らかでも恩返ししようと思えます、誠にことば足らずで申し訳ありませんが御礼の挨拶と致します。

平成二十四年度

遊楽部学園開講式

開講四十周年記念式典

祝賀会

四月二十七日(金) 遊楽亭

十時 開講式

十一時 記念式典

十二時 祝賀会

★バス九時半 公民館出発

★受講料千円 傷害保険料千円は事務局(佐藤さん)へ

★保険料 二百円値上げ

★学園年会費二千五百円

★祝賀会費 三千元は学園会計へ

★出費多事の折宜しくお願いします。

★出席は四月十九日まで各班長さんへ申し込んで下さい。集金は各班ごとにお願います。

★当日会場準備のため役員の方は九時半まで遊楽亭へ集合願います。